

心のカウンセラー

私は公立高校に落ちて大谷高校に来ました。一年をとおして、公立高校では経験できない「宗教」という授業でたくさん学び、たくさん成長できたと思います。

正直、初めは「宗教の授業ってどんなことをするのだろう。お経を唱え、つまらない授業だろう」と思っていました。しかし、違いました。宗教で学ぶ、成功した人たちはみんな失敗（挫折）して、その失敗があったからこそ成功しています。

私は最近、悩むことが多いのですが、その人たちの前向きなところを見て、「自分はなんて小さいことに悩んでいるんだ」と思います。だから、悩まず前に進もうと思います。私の心をリセットしてくれます。勉強で忙しくても、木曜日の4限目は自分と向き合う時間を与えてくれます。

いつも宗教の授業では、涙が出そうになるくらい感動できる話ばかりです。だから宗教の授業は一週間にたった一時間しかないけれど、私にとって大切な時間で、心のカウンセラーのよくな存在です。

（二年 女子）

前向きになれる言葉

この一年間、宗教の授業を受けて、数えきれないくらいたくさんのことを教えてもらいました。初めは「宗教」と聞くと、堅苦しいという偏見を持っていました。でも、授業を重ねるたびに、今日学んだことを部活のノートに書いたり、メモをしたりして、自分にとって前向きになれる言葉をたくさん教えてもらいました。

毎時間の宗教の授業で得られるものはとても大きかったです。どんな時も冷静に考え、思いやりの心をもっていけば、困難に立ち向かうことができます。そして、自分を信じ、前を見る。教わったことを、二年生、三年生、進学し社会人になっても忘れず、自分の子どもにも伝えられたらいいなと思います。

高校生活はあと約二年あります。その間でまだどれだけ自分と向き合い、成長できるか楽しみです。また、授業で教わったことを部活などにも生かし、少しでも自分の目標を達成できるように、毎日誠実にコツコツ努力していきます。一年間ありがとうございました。

（二年 女子）